

藍住町 議会だより

第91号

平成29年11月25日

目次

平成28年度一般会計・特別会計決算認定	P. 2～3
常任委員会 ～主な質疑～	P. 4～5
一般質問 ～町政のことが聞きたい～	P. 7～10
わたしの一言・議会のうそき	P. 12

あい・LOVE・フェスティバル



発行 ● 藍住町議会

編集 ● 議会だより編集委員会

徳島県板野郡藍住町奥野字矢上52-1 TEL (088)637-3127

FAX (088)637-3156

<http://www.town.aizumi.tokushima.jp>

認定

9月定例会

9月議会定例会が9月5日から22日までの18日間の会期で開会され、下記の議案について審議しました。

一般質問では4人の議員が登壇し、町政について質問しました。

実質収支額 3億3,647万円の黒字決算

歳入総額	105億1,580万円
歳出総額	100億2,975万円
歳入歳出差引額	4億8,605万円
継続費通次繰越・繰越明許費繰越額	1億4,958万円
実質収支額	3億3,647万円
財政調整基金繰入額	3,370万円
平成29年度への繰越額	3億277万円

歳入歳出差引額から、継続費通次繰越・繰越明許費繰越額(29年度の特定事業への繰越額)を差し引いた実質収支額は3億3,647万円の黒字となりました。

実質収支額の10%である3,370万円を財政調整基金(町の貯金)へ積立、残り3億277万円を29年度へ繰越しました。

★平成28年度決算の状況★

区 分		歳入額	歳出額	継続費通次繰越・繰越明許費繰越額	実質収支額
一般会計		105億1,580万円	100億2,975万円	1億4,958万円	3億3,647万円
特別会計	国民健康保険事業	39億6,831万円	38億7,495万円	0円	9,336万円
	介護保険事業	24億4,675万円	23億8,827万円	0円	5,848万円
	介護サービス事業	1,214万円	1,214万円	0円	0円
	後期高齢者医療事業	3億277万円	2億8,106万円	0円	2,171万円
	下水道事業	4億3,934万円	4億3,291万円	0円	643万円

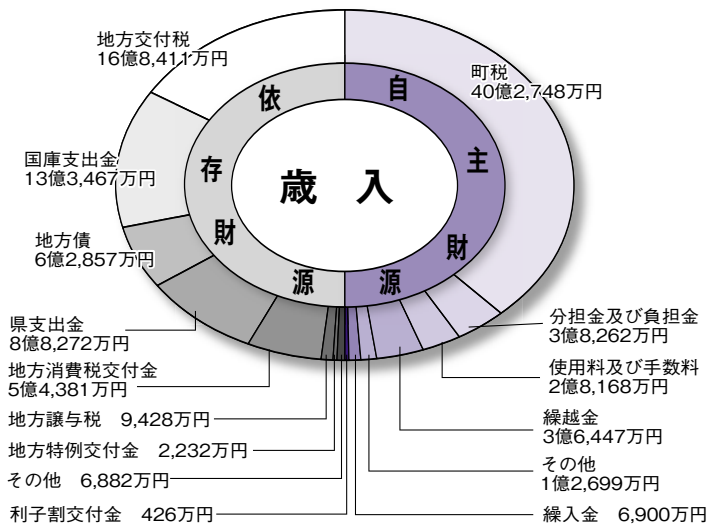
区 分		収入総額	支出総額	収益的収支純利益(消費税調整後)および資本的収支不足額
水道事業	収益的収支	5億4,607万円	4億1,933万円	1億1,714万円
	資本的収支	2,147万円	1億4,970万円	△1億2,823万円

※水道事業の資本的収支不足額については、内部留保資金等で全額補填しました

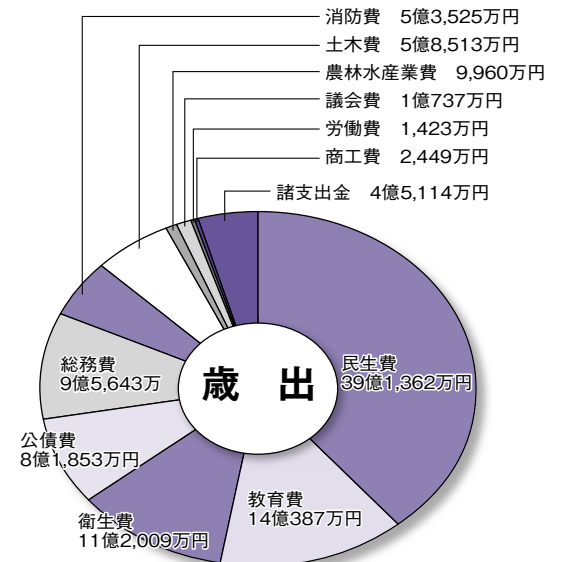
平成28年度

一般会計・特別会計

決算



歳入総額 105億1,580万円



歳出総額 100億2,975万円

★健全化判断比率★

指標	平成28年度	早期健全化基準 ※1	備考
① 実質赤字比率 ※2	－ %	14.14%	実質黒字額 3億3,647万円
② 連結実質赤字比率 ※3	－ %	19.14%	連結実質黒字額 15億8,548万円
③ 実質公債費比率 ※4	4.3%	25.0%	
④ 将来負担比率 ※5	－ %	350.0%	

※1 早期健全化基準の一つでも超えると「財政健全化計画」を定めなければならない

※2 一般会計に生じている赤字の大きさを標準財政規模に対する割合で表したもの

※3 水道など公営企業を含む全会計に生じている赤字の大きさを標準財政規模に対する割合で表したもの

※4 借入金(町債)の返済額(公債費)の大きさを標準財政規模に対する割合で表したもの

※5 借入金(町債)などの現在抱えている負債の大きさを標準財政規模に対する割合で表したもの

平成29年度一般会計補正予算

歳入歳出
それぞれ

1億6,000万円増額

予算
総額

99億9,000万円

～一部の補正内容(1万円未満四捨五入)～

民生費

◆ 保育所認可化移行支援事業 1,871万円
(準備費用補助金・施設整備補助金)

衛生費

◆ 母子保健費 350万円
(不妊治療助成事業)

常任委員会 主な質疑

9月定例会の議案については、その審査を各常任委員会に付託しました。
各委員会において審査した結果、それぞれ全会一致で原案可決され、最終日に各委員長から審査結果の報告がありました。

主な質疑・意見については次のとおりです。

建設産業常任委員会

平成28年度

一般会計決算

〔農業振興事業〕

問 新作物研究会で新しく作った作物は。

答 鍋などに使うネギやミニチンゲンサイなどがある。また、昨年からは「愛住」というネーミングを登録商標しており、その名前を付けて愛住ネギとして販売をしている。



「愛住ネギ」収穫の様子

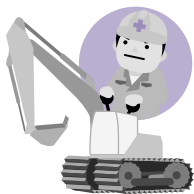
平成28年度

水道事業決算

〔水道事業〕

問 石綿管の布設替工事
はどのぐらい残っているのか、また、今後の計画は。

答 現在、データを精査しているところであるが、6km程度。
従来から、石綿管の布設替工事を優先的に行っているが、ほかの管種については、耐用年数を経過するものもあり、防災の観点から重要施設への配水の見直しも含め計画を立てていく。



厚生常任委員会

平成28年度

一般会計決算

〔浄化槽設置整備事業〕

問 補助基数が153基とあるが1基当たりの補助金は幾らか。

答 153基のうち、新設補助は136基で、1基当たり10万円。転換補助は17基で、5人槽への転換補助金が1基当たり33万2千円、7人槽への転換補助金は1基当たり41万4千円。

平成28年度
国民健康保険事業会計決算

〔不能欠損額・収入未済額〕

問 不能欠損額・収入未済額が非常に多いが、どのような収納対策をしているか。また、滞納整理機構への移管件数はどのくらいあるのか。

答 滞納者に対しては督促状を送付しており、年2回県と共同催告をしている。また、町独自で3回催告をしているが、納付のない方については、国民健康保険証の短期保険証の交付や、それでも納付のない方については、最終的に滞納整理機構へ移管しており、移管件数は国保税とそれ以外の税を含めて30件である。

これからも、県と万全の体制を組む中で徴収率を上げていく。

平成28年度
介護保険事業会計決算

〔介護保険料〕

問 年金から天引きされる介護保険料になぜ滞納が発生するのか。また、介護保険料を滞納した方についての差押えをしたことがあるのか。

答 介護保険料については、65歳に到達した時点から年金での天引きで納付という形となるが、年金受給資格ができてから天引きされるまで、半年近くは事務処理等に掛かるため、その間は個々に納めていただくか、引き落としの手続きをしていたり必要があり、手続きができていない方の未収金が出てきている。

また、差押えについてはないが、給付費の給付制限をかける場合がある。

〔給付状況〕

問 サービスを受けた人数が減っているのに給付費が増えている理由は。

答 給付費については、人数と比例するものではなく、介護度によって使えるサービスの月額量が違うため、人数が減っても介護度の高い方が増えると給付費が増えると考えられる。

総務文教常任委員会

平成28年度 一般会計決算

「貸付金元利収入」

問 就学資金貸付金の償還金回収についての取組は。

答 過年度分では12名の該当者があり、3名からは納付していただいている。納付のない方については、督促状を出しているが納付には至っていない。

問 住宅新築資金等償還金回収についての取組は。

答 住宅新築資金については、既に事業は終了しているため、新規の貸付けはないが、過去に貸付けたものが残っている。住宅新築資金の不能欠損処理は、10年の時効が成立後、

債権放棄の議決を頂くか、債権者から時効が成立している旨の申出をしていただく必要があるため、今後、個々の状況を精査し、不能欠損の手続きについても検討していきたい。

「マイナンバーカード」

問 町職員に対する普及率は。

答 町職員の普及率については、把握ができていないため、今後調査をする。

なお、平成29年8月31日現在で、藍住町全体では、2996名が取得しており8・5%の普及率で、今後も推進に努める。



「教育費・適応指導教室」
問 具体的にどう進んでいるのか。

答 小中学校の教員資格を持った臨時職員2名が常駐し、子供たちの学習指導やメンタルケアなどを行い、学校に戻りやすい状況をつくっている。また、2か月に1回、職員や教育委員会、小中学校の先生、スクールカウンセラーが集まり、一人一人の状況確認をしながら進めている。

「図書館費」

問 年間図書購入費と購入冊数は。

答 予算は600万円で、平成28年度の実績購入数は、児童図書980冊、一般図書2532冊、郷土資料関係15冊。

「木造住宅耐震化促進事業」

問 耐震診断後、改修に至らない理由は。また、県に対して、改修する補助金増額の要望はしたのか。

答 理由については、現在、耐震診断を受けた方全員にアンケートを送って集計中である。補助金の増額については、県に対して要望している。

平成29年度 一般会計補正予算

「(仮称)藍住町文化ホール・公共施設複合化事業」

問 総合施設駐車場拡張工事の場所は。

答 総合施設駐車場と庁舎との間に鉄塔に隣接している農地を借地として増設予定で、約50台を見込んでいる。

「一般排水路改良費」

問 900万円の補正の内訳は。

答 北千間堀、南千間堀合流点の改良について、徳島市、北島町、J Rと協議を行い、基本計画を策定する。

陳情

1件の陳情があり、議員に配布しました。

●「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情書

請願者

全国森林環境税創設促進議員連盟
会長 板垣 一徳
(新潟県村上市議会議員)

編集委員会では町民の声の投稿を募集しています。議会や町政に関する御意見をお寄せください。

投稿規定

- ① 住所・氏名・電話番号を明記。
- ② 掲載時に匿名を希望する方は申し出てください。
- ③ 字数は500字以内。
- ④ 投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。

定例会案内

次の定例会は12月です。
次号は2月に発行します。

本会議を傍聴しませんか

詳しくは議会事務局まで
お問い合わせ ● 議会事務局 ☎637-3127

その他の議案・報告・諮問

～町長提案～

- 平成28年度藍住町一般会計歳入歳出決算の認定 原案可決
- 平成28年度藍住町特別会計(国民健康保険事業)歳入歳出決算の認定 原案可決
- 平成28年度藍住町特別会計(介護保険事業)歳入歳出決算の認定 原案可決
- 平成28年度藍住町特別会計(介護サービス事業)歳入歳出決算の認定 原案可決
- 平成28年度藍住町特別会計(後期高齢者医療事業)歳入歳出決算の認定 原案可決
- 平成28年度藍住町特別会計(水道事業)利益の処分及び歳入歳出決算の認定 原案可決
- 平成28年度藍住町特別会計(下水道事業)歳入歳出決算の認定 原案可決
- 平成29年度藍住町一般会計補正予算 原案可決
- 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び
特定個人情報の提供に関する条例の一部改正 原案可決
- 藍住町教育委員会委員任命の同意 奥村康人氏

～議員提案～

- 議会改革調査特別委員会の設置に関する決議 原案可決

～諮問～

- 人権擁護委員候補者の推薦 山田昌俊氏

～報告～

- 平成28年度財政健全化判断比率の報告
- 平成28年度水道事業会計資金不足比率の報告
- 平成28年度下水道事業会計資金不足比率の報告

請願の採決の結果

○：賛成 ×：反対 ー：議長のため採決には参加せず

議員名 請願名	喜田修	古川義夫	小川幸英	林茂	安藝広志	鳥海典昭	矢部幸一	徳元敏行	西岡恵子	西川良夫	森彪	永濱茂樹	奥村晴明	佐野慶一	平石賢治	森志郎	結果
日本政府に「すみやかに核兵器禁止条約の調印、批准」の意見書採択を求める請願	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	ー	不採択

平和行政

核兵器や戦争のない平和で安全な社会であることを願う



林 茂 議員

問 町の平和行政と学校教育の取組は。

答 小学校では、国語や社会の授業の中で、平和と人権について学んでおり、中学校では沖縄への修学旅行を実施し、戦争を体験された語り部の方からの生々しいお話を伺うなど、平和の大切さを考えるような学習に努めている。

問 7月7日、国連で核兵器禁止条約が、122か国の圧倒的多数の賛成で採択された。非核三原則の堅持と、全ての核兵器などの速やかな廃絶を訴え、戦争のない平和な世界が実現することを願う藍住町は平和都市宣言をしているが、核兵器禁止条約採択について町長の見解を。

答 核兵器や戦争のない平和で安全な社会であることを願う。

生活環境改善 空き家等対策を計画的に推進

問 空き家は、倒壊、防災、治安や衛生上著しく有害となり増える傾向にある。改善策として町は空き家対策協議会を設置。空き家戸数と今後の計画は。

答 対象となる1万3476軒のうち、空き家等は433軒。今後も空き家等対策について粘り強く事業を進める。

問 空き家対策協議会は、町民の公募委員や自治会の協力が得られる構成に。

答 専門家の方、関係機関等、幅広く意見を反映できるような構成で検討中。

問 町営住宅入居者の世帯別の収入状況と構成は。

答 月額10万4千円までの入居者が全体の72%を占めている。

問 入居者選考方法は母子・高齢者・障がい者など住宅困窮度の高い世帯から優先入居する方法もあるが、町の対応は。

答 優先入居はしていないが、抽選に3回続けて外れた希望者の方には優先的に入居を行っている。

問 家族の中で病気になったり、失業すると、家賃を払いたくても払えない。この状況が続くと滞納額も増えてくる。訪問し、暮らしの実情もつかむこと。生活保護基準に準じて減免基準をつくること。

答 生活状況に変化があった場合は、納付相談により配慮する。減免については、近隣の状況を見ながら検討。



国保問題

来年度4月から都道府県単位での国保制度改革が始まる



藍住町空き家等実態調査の様子

問 国保加入者の所得階層別の世帯数と滞納世帯数、短期保険証などの発行状況は。

答 平成28年度の国保加入者合計世帯数4825世帯、うち滞納世帯数387世帯、短期保険証の交付342世帯、資格証の交付2世帯、差押え件数1件。

問 国保の広域化で、町の国保税はどうなるのか。

答 今後、医療費の伸びが想定されるため、納付金の増額が考えられる。

汚水処理事業について

地域の実情に合わせた基本的計画を検討



小川 幸英 議員

問 現在の下水道の進捗状況はどうなっているか。

答 第1期、第2期計画区域面積は186.6畝で、うち120.1畝は完了。進捗率は64.3%。

問 下水道汚水処理人口普及の状況は。

答 別表参照。

問 財政状況は。

答 平成28年度決算では、実質収支額642万9580円。

問 今後の方向性について。

答 国・県ともに下水道事業から合併浄化槽を推進する基本計画を検討。本町でも下水道区域の見直しを行う必要がある。

藍住町汚水処理人口普及状況

	人 口	割 合
下水道 (下水道処理人口普及率)	3,491 人	10.00%
合併処理浄化槽 (浄化槽人口普及率)	16,158 人	46.29%
合 計 (汚水処理人口普及率)	19,649 人	56.29%

問 合併処理浄化槽の普及率は。

答 別表参照。

問 本町においては、下水道、合併浄化槽どちらに重きを置いて推進していくか。

答 合併処理浄化槽事業に移らざるを得ないと思われる。

冠水対策について

強制排水対策を検討

問 勝瑞地区千間掘周辺の北島町になる北高校横の踏切部分が一段と狭くなっており、南千間と北千間の合流地点の改修を行えば少々の解消ができる。その部分が北島町の区域のため、町の状況を報告し、協力依頼をするとのことであったが、その後どうなったのか。

また、町内各所の冠水対策について、平成28年度の台風16号の時の道路冠水箇所の資料を見ると、町内26か所で冠水。ほぼ町内全域で低い所が冠水している。今後どのように取り組んでいくか。

答 6月に北島町を訪問し、本町の排水事情を説明した。合流点を改良する必要性については、理解を得られたと思う。

従来は、自然排水を基本に検討していたが、排水ポンプ等の強制排水も有効な手段と考え、河川管理者等と協議の上、検討していく。

その他の質問

水道事業について

経営戦略を策定し、計画的に更新

問 本町の水道事業はどのようになっているか。

答 現在、黒字経営を続けており、人口減少の予測もされていないことから、当分の間は消費税率アップに伴う値上げ以外は、想定していない。

問 アスベスト管、古い管を順次変えているがどのくらい残っているか。また、今後費用はどのくらい掛かるか。

答 6km余り残っており、2億円程度を予定。

問 本町の上水道基幹管路耐震化率は、2015年度で23.8%と板野郡では一番低いが、現在はどうなっているか。今後どのように取り組んでいくのか。

答 現在の基準に適合させるためには、以前布設された配水管の布設替えが必要であるが難しい。老朽管の布設替えや新規布設について、耐震基準を満たしたもので施工することで、耐震化率の向上を図る。

○ふるさと納税について
○議員の資格を巡る訴訟について

就学援助制度、新入学学用品費・修学旅行費の 繰上げ支給を求める

前もっての支給は難しい



西岡 恵子 議員

問 就学援助制度は、総じて経済的な理由により児童生徒を就学させることが困難な家庭と自治体が判断した世帯で、この制度は子供の貧困率と大きく関係しています。子供の六、七人に一人が貧困と言われ、ひとり親世帯の貧困率は50・8%。特に母子家庭の経済状況は深刻、きめ細かな配慮が必要です。本町の就学援助の新入学学用品費、修学旅行費は後払いの方法ですが、繰上げ支給を求めます。

答 修学旅行費は、直接必要な経費について、実施後に支給金額を決定しており、就学援助は、2月に文書を配布し、3月に受付、4月に認定を行い、5月上旬に決定通知を送付している。毎年四、五百件の申請があり、事務量も多く時間が必要である。

石川町政を振り返って 様々な行財政改革を進めてきた

問 突然の引退表明に驚いたところですが、四期16年の町政運営で、私がテーマとしている教育・福祉・環境・男女共同参画社会の実現の視点から印象に残る事業について尋ねます。

また、行財政改革・財政健全化に向けての取組の自己評価と今後の藍住町への提言を聞きます。

答 トイレの洋式化やエアコンの設置等、学校施設の環境改善を図り、ゼロ歳から中学3年生終了までの保険診療分を助成、また、住民の方々の御協力により、ごみ袋を有料化し、ごみの分別、減量化に取り組んだ。

男女が共に個性と能力を発揮できる社会の実現を基本理念とし、平成26年度に「第2次藍住町男女共同参画プラン」を策定。本年度の女性管理職の登用は、目標値を上回る40%を達成している。

様々な行財政改革を推し進めた結果、数値的に見てもおおむね達成できた。



「インディゴコレクション 2017」の開催 定員を上回る102名が参加予定

問 藍住町総合戦略、観光交流資源魅力化プロジェクト事業の一環としてのファッションショーの開催について、普及支援事業としての今後の取組について尋ねます。

また、本年5月から毎月2回程度、藍の館で藍染めのワークショップを開催しており、藍の館を活用した体験型イベントや展示会等の実施により、阿波藍を活用した情報発信や観光誘客に取り組む。

答 課題であった周知は、情報誌やホームページ

ジ、SNS等で繰り返し情報発信を行っている。



インディゴコレクション2017に出演した子供たち（町民シアター）

防災対策

応急危険度判定士について広く周知を図る



永濱 茂樹 議員

問 応急危険度判定士は、大きな地震・災害が起こったとき建物や宅地を調査し、安全かどうかを判定する専門の人で、建物・柱の傾き・壁のひび割れ、擁壁の状況等から危険度の判定を行い、安全は青、要注意は黄、危険は赤のステッカーを貼って住民の皆さんに知らせ、余震の被害を防止する大切な役割である。今後、発生が想定される南海トラフ巨大地震、中央構造線・活断層地震に備え、皆さんの命を守る応急危険度判定について知る必要がある。

藍住町では、応急危険度判定士は何人いるのか。判定士が多いほど、災害時の補助対策・順番待ちがス

ムーズに運ばれるので、1人でも多く、応急危険度判定士の要請を。

答 応急危険度判定士には、被災建築物応急危険度判定士と、被災宅地危険度判定士の資格があり、9月現在、被災建築物応急危険度判定士・町職員14人、町内在住の建築士や県職員等23人。被災宅地危険度判定士・町職員16名、町内在住の建築士や県職員等12人。

また、災害発生時に避難所となる小中学校等の安全確認を実施するため、応急危険度判定士の派遣について取り決めた協定を、町と公益社団法人徳島県建築士会との間で締結した。

高齢者の健康づくり

今年度から「いきいき百歳体操」を開始

問 鳴門市では、筋力アップやバランス感覚を養う「百歳体操」の教室が開設されているが、藍住町でも、町内各老人ホームや福寿連合会等で開設を。

答 藍住町においても、従来の介護予防事業の「いきいきサロン」に加え

「いきいき百歳体操」を今年度から開始することにし、福寿連合会役員会において、教室開設の説明を行った。広報やホームページ等で広く教室開設の募集をし、身近な場所に参加できる教室開設に向け、推進していく。



「いきいき百歳体操」を開始（すみよし団地集会所）

その他の質問

- 地震の電気火災を防ぐ「感震ブレーカー」設置補助対策
- 名田橋橋脚劣化対策
- 豊国生コン西県道交差点改良
- 役場1階ホールに防災啓発パネル展示・周知
- 防災ハンドブック
- 狭隘道路解消対策

教育問題・専科教員について

幼稚園、小中学校で2人のアメリカ人による生きた英会話を実践中



答 藍住町では、聞く・話すから入る英語に重点を置き、幼稚園・小中学校で2人のアメリカ人による生きた英会話を実践中である。今後も聞く・話すを大切にする方針を継続、充実させ、国際的人材を少しでも育成していく。

問 文部科学省は、次期学習指導要領に沿った授業を円滑に実施できるように、小学校で英語などを専門に教える専科教員の増員を目指し、いじめや不登校、貧困課題等に対応するとのこと。藍住町の今後の教育方針は。

議

員

研

修

報

告

防災対策特別 委員会研修会

9月21日、徳島県エルピーガス協会の方を迎え、「災害に強いLPガスについて」研修会を開催し、11名の議員が参加しました。



四国四県町村長・議長大会 四国地区町村議会議長会研修会

9月26日、四国四県町村長・議長大会が高知県高知市で、また、10月12日には四国地区町村議会議長会研修会が愛媛県松山市で開催され、森志郎議長が参加しました。



板野郡 町議会議員研修会

10月31日、板野郡町議会議員研修会が本町「町民シアター」において開催され、板野郡内の町議会議員約73名が参加しました。
瀬戸内美八氏より「私の歩んだ道」と題して、講演が行われました。



議会広報作成講座

8月23日徳島市千秋閣において議会広報作成講座が開催され、3名の議員が参加しました。



わたしの一言

徳命 黒上 晴美さん

～農業委員になって～

私の家は専業農家です。息子夫婦を中心に家族4人で営んでいます。私自身は、藍住に嫁に来て以来、45年農業一筋に「田んぼの子」としてやってきました。そんな私のところへ役場の方が来られて、農業委員のお話をいただきました。新体制への移行で女性委員2名の枠ができるとのことでした。最初はどのようにして私なのだろうかとも思ったのですが、家族にも相談したところ、「できることがあるだろうから、やってみたら。」と賛成してくれたので、引き受けることにしました。

私が農業に携わり始めて、環境も随分変化してきました。特に藍住町は住宅地がますます増えています。宅地ができれば農業もやりにくくなっているのが現状です。

例えば、日当たりや排水の問題、トラクターの騒音の問題など様々あります。そうした環境の中で、いかにおいしいニンジンや米などを作り、販売するかが今の農業での課題です。

「田んぼの子」としてやってきた私が農業委員として、どのような取組ができるか分かりません。しかし、女性委員として、しっかり学び、取り組んでいきたいと思っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。



議会のうごき

8月

1日	議会だより編集委員会
4日	徳島県町村議会議員研修会
8日	徳島県後期高齢者医療広域連合議会定例会(徳島市)
21日	西部補導センター定例監査(板野町)
23日	議会広報紙作成講座(徳島市)
25日	鳴門市議会議員研修会(鳴門市)
28日	板野郡議定会定例会
29日	議会運営委員会
30日	四国地区議長会会長会(香川県)
31日	徳島県戦没者追悼式(徳島市)
1日	徳島県総合防災訓練(鳴門市)
5日	9月議会定例会開会 議会全員協議会

9月



インディゴコレクション2017
出演者の作品

6日	厚生常任委員会
7日	建設産業常任委員会
8日	総務文教常任委員会
10日	藍住町防災団総会
13日	東中学校体育祭
18日	9月議会定例会一般質問
21日	敬老のつどい
22日	防災対策特別委員会研修会
23日	9月議会定例会閉会
26日	国民体育大会壮行会
27日	北幼小・東幼小運動会
30日	四国四県町村長・議長大会(高知市)
1日	板野東部消防組合議会臨時会(北島町)
12日	四国地区町村議会議長会研修会(松山市)
21日	身体障害者ふれあい大会
26日	都道府県会長会(東京都)
28日	福祉・健康づくり町フェスティバル
29日	防災・避難訓練
31日	板野郡町議会議員研修会

10月

編集後記

2020年の東京五輪・パラリンピックの公式エンブレムに藍色が採用されたのを機に、徳島県は7月24日を「とくしま藍の日」と決めました。県民に藍を身近に感じてもらう、文化継承・産業振興につなげることを目的としています。

阿波藍で染め出される青は海外では「ジャパンブルー」とも呼ばれ、注目度が高まっており、天然染料・藍染めの良さも見直されています。

本町では、昨年に続き、自分が染めた洋服や小物を身に付けたファッションショー「インディゴコレクション2017」が10月22日盛大に開催されました。

(西岡 恵子)

議会だより編集委員会

委員長	徳元 敏行
副委員長	西岡 恵子
委員	林 茂子
委員	鳥海 典昭
委員	奥村 晴明